

日本・スウェーデン国際会議 — ジェロントロジー —
Japan-Sweden Conference on
'Challenges and Opportunities in Aging Society'
公開シンポジウム・プログラム

「ジェロントロジー：安心して老いを迎えられる超高齢社会をめざして」
Gerontology: Challenges and Opportunities in Aging Society

日時：2009年10月7日(水) 13:00～ (受付12:30～)

場所：東京大学 安田講堂

総合司会：原真人(朝日新聞社論説委員)

プログラム：

13:00 開会

開会の挨拶

濱田純一 (東京大学総長)

アンデシュ・ハルベル (ウプサラ大学総長)

ステファン・ノレーン (在日スウェーデン大使)

13:20 - 14:45 基調講演

小宮山宏 (三菱総合研究所理事長/東京大学前総長)

「ブラチナタウン構想：有限の地球と人口高齢化への挑戦」

ペイエ・エミルソン (クレアブ最高経営責任者)

「超高齢社会の課題と可能性：産業界の視点」

14:45 - 15:00 休憩

15:00 - 17:00 パネル・ディスカッション

1. 超高齢社会の挑戦：転換期を迎えるスウェーデンと日本

ラーシュ・マグヌスソン (ウプサラ大学教授)

“Future direction of social system in ageing society”

(超高齢社会対応の社会システムのありかた)

グニラ・マルンボリ (社会保険省局長)

“Prospects and threats of ageing society: a general perspective”

(超高齢社会はこれからどこへ向かうのか)

京極高宣 (国立社会保障・人口問題研究所長)

“Past, present, and future of our society”

(日本・スウェーデンの人口高齢化と社会保障)

2. 医療と福祉のゆくえ: スウェーデンと日本が目指す安心のかたち

ペール＝グンナル・エデバルグ (ルンド大学教授)

“Trends in Swedish care for the elderly”

(スウェーデンの介護と福祉のいま)

辻哲夫 (東京大学高齢社会総合研究機構教授)

“Trends in Japanese care for the elderly”

(日本のケアシステムの現状と課題)

3. 未来をデザインする: 超高齢社会に輝く産業

インガ・マルムクヴィスト (チャルマーズ工科大学ヨテボリ准教授)

“Challenges for innovative design in technology and building”

(技術と建築のデザイン革命)

秋山昌範 (東京大学政策ビジョン研究センター教授)

“Population aging and business chance: The Golden New Deal”

企業等による展示会

シンポジウムと並行して、企業や研究部門による展示会を開催いたします。企業等の高齢社会に対する取り組みをご紹介します。自由にご見学ください。

～ ・ ・ ・ ・ ・ ～ ・ ・ ・ ・ ・ ～ ・ ・ ・ ・ ・ ～

10月7日(水) 10:00 ～ 18:00

工学部2号館フォーラム(安田講堂に向かって左横の高い建物の吹抜けです)

参加費 無料